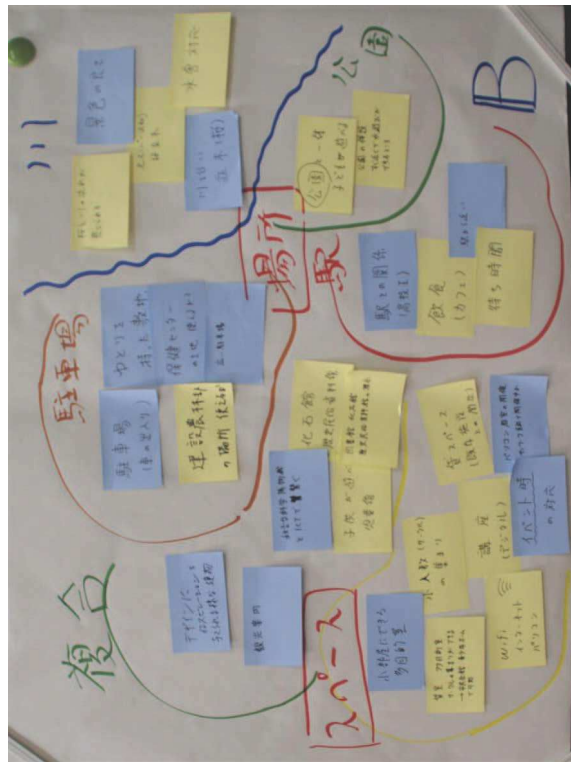


美祿市立図書館基本構想策定業務

令和2年度第3回美祿市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日時	2021年2月9日(火) 9:30~11:30
場所	美祿市役所3階委員会室
グループ	委員：作本 照子 (認定こども園代表、伊佐中央幼稚園園長) 田村志美子 (山口県立図書館) 野原 妙子 (利用者美祿地区代表) 牛島 朗 (山口大学大学院准教授/委員会会長)
参加者	
(敬称略)	
行政:	
計画:	

■STEP3の場所や空間に関わるることについての議論の結果



◎駅

- ・駅との関係 (高校生)
- ・飲食 (カフェ)
- ・待ら時間
- ・駅から近い

◎公園

- ・公園と一体、子どもが遊べる
- ・公園の併設、すぐ近くで水遊びができること

◎川

- ・桜と川の流れが感じられる
- ・景色の良さ
- ・元スーパ (丸和)、桜並木
- ・川沿い、並木 (桜)
- ・水害対応

◎駐車場

- ・建設農林部の場所が使えるか
- ・ゆとりを持った敷地
- ・保健センターの土地つかえるか?
- ・広い駐車場
- ・駐車場 (車の出入り)

○スペース

- ・小部屋にできる多目的室
- ・サークルの集まりができる貸室、多目的室(市民会館、青少年ホームで可能)
- ・貸しスペース (既存施設との関係)
- ・少人数 (サークル) の集まり
- ・Wi-fi、インターネット、パソコン
- ・講座 (デジタル)
- ・イベント時の対応
- ・パソコン教室の開催 (サンワーク美祿で開催中)

○複合

- ・デザインにインスピレーションを与えられるような建物
- ・観光案内
- ・秋吉台科学博物館とICTで繋ぐ

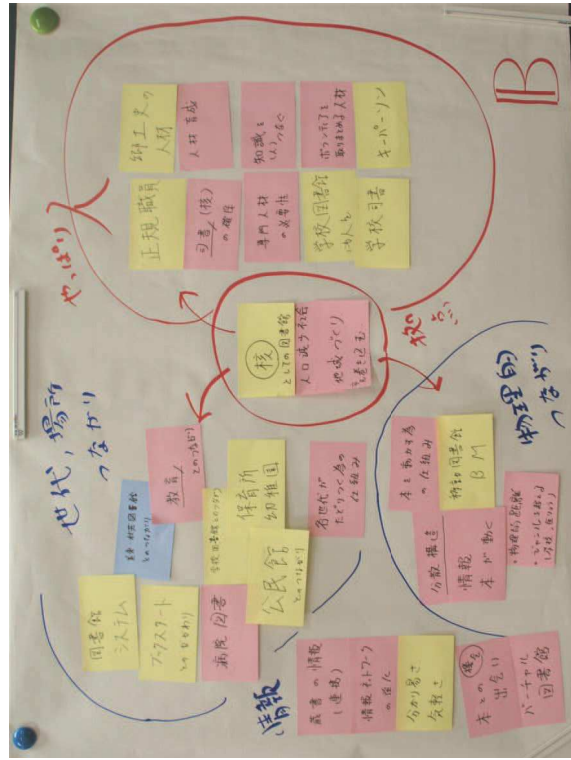
- 世代、場所、つながり
  - ・各世代がたどり着くための仕組み
  - ・図書館システム
  - ・ブックスタートとの関わり
  - ・病院図書
  - ・美東、秋芳図書館とのつながり
  - ・教育とのつながり
  - ・学校図書館とのつながり
  - ・公民館とのつながり
  - ・保育所、幼稚園

- 物理的なつながり
  - ・移動図書館
  - ・BM
  - ・本を動かすための仕組み
  - ・分散構造
  - ・情報、本が動く
  - ・物理的距離
  - ・ジャンルを超える（学校、医療）

- 情報
  - ・蔵書の情報（連携）
  - ・情報ネットワークの強化
  - ・分かり易さ、気軽さ
  - ・本との出会い、機会
  - ・バーチャル図書館

- ・子どもが遊べる児童館
- ・化石館
- ・歴史民俗資料館
- ・図書館、化石館、歴史民俗資料館の複合

■STEP5のつながり・ネットワーク、運営に関わることについての議論の結果



- 拠点
  - ・核としての図書館
  - ・人口減少社会、地域づくり
  - ・市民を巻き込む

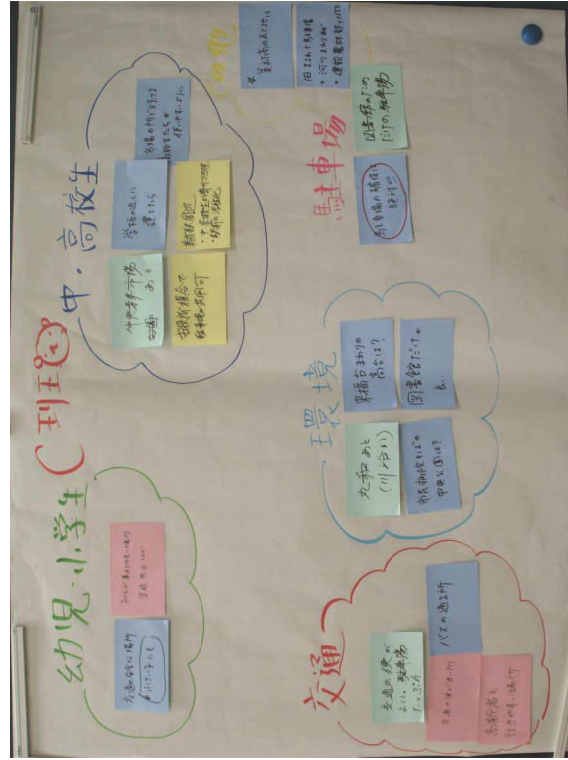
○やっばり人

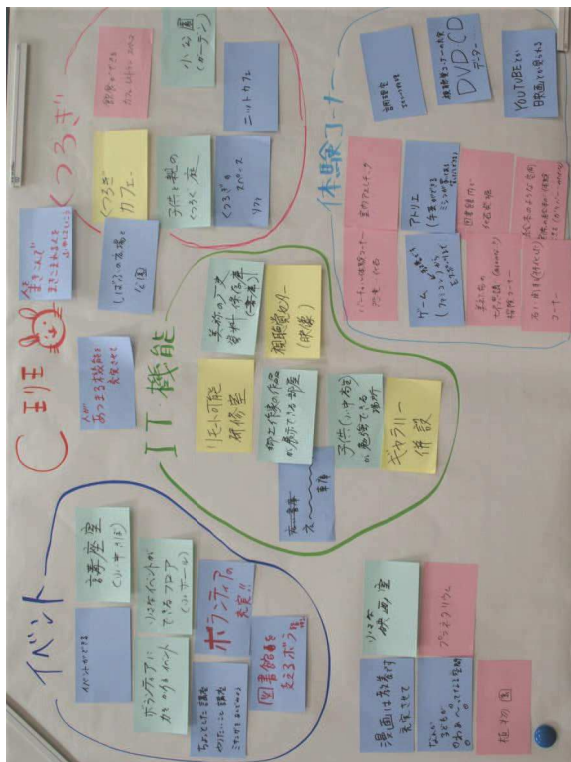
- ・ 正規職員
- ・ 司書(核)の確保
- ・ 専門人材の必要性
- ・ 学校図書館にも人を
- ・ 学校司書
- ・ 郷土史の人材
- ・ 人材育成
- ・ 知識(人)をつなぐ
- ・ ボランティアを取りまとめる人材
- ・ キーパーソン

美祢市立図書館基本構想策定業務

令和2年度第3回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録(株)龍環境計画	
日時	2021年2月9日(火) 9:30~11:30
場所	美祢市役所3階委員会室
グループC (敬称略)	委員: 利重 佳子 (真長田保育園園長) 金石 芳朗 (県立美祢青嶺高等学校校長) 山根 文江 (読み聞かせの会代表) 豊田 康恵 (利用者秋芳地区代表) 中原 和昭 (社会教育委員)
行政:	
計画:	

■STEP3の場所や空間に関わることについての議論の結果





### ◎その他の場所

- ・美称高の跡地は
- ・旧丸和+駐車場+河川まわり+建設農林部+NTT

### ◎交通

- ・交通の便が良い、駐車場がたっぷり
- ・交通の便が良いところ
- ・バスが通るところ
- ・高齢者も行きやすい場所

### ◎駐車場

- ・駐車場の確保は絶対！
- ・図書館のためだけの駐車場

### ◎IT機能

- ・リモート可能な研修室
- ・美称の歴史、資料保存庫 (書庫)
- ・郷土作家の作品が展示できる部屋
- ・視聴覚センター (映像)
- ・子ども (小中高生) が勉強できる場所
- ・ギャラリー併設
- ・広い車庫

### ◎くつろぎ

- ・くつろぎカフェ
- ・子どもと親がくつろぐ庭
- ・芝生の広場と公園
- ・くつろぎのスペース、ソファ
- ・飲食ができるカフェ、レストランスペース
- ・小公園 (ガーデン)
- ・ニットカフェ

### ◎幼児・小学生

- ・交通の安全な場所 (小さい子どもにも)
- ・子どもが集まりやすい場所、学校周辺など

### ◎中・高校生

- ・中央青果市場の跡
- ・市場のところで待っている高校生たちが使いやすいように
- ・学校の近くに建てたら
- ・美称駅周辺 (中高校生が寄り付きやすい、駅前の活性化)
- ・市役所複合で駐車場が共用可

### ◎環境

- ・丸和跡 (川沿い)
- ・市民病院そばの中央公園は？
- ・来福台まわりの高台は？
- ・図書館だけが良い

■STEP5のつながり・ネットワーク、運営に関わることについての議論の結果



○運営

- ・ 目指すは本読み人口日本一
- ・ 複合図書館 (本あり、人あり、イベントあり、tea あり)
- ・ 多目的図書館 (読書あり、カフェあり、おしやべりあり、ギヤラリーあり、イベントあり)
- ・ 静かさにとぎわいと (市の行事にも寄り添う)
- ・ イベントは市民委員で決める、希望で!
- ・ マイクロバスによる移動図書館
- ・ 眠っている本を集めること (美祢市の宝となる資料など)
- ・ 小中高図書館とのネットワーク
- ・ 図書館ファンクラブ
- ・ 市民運営委員
- ・ 小中高、市民図書館委員→リンクエスト (イベント、本)
- ・ 他市の図書館を見に行くツアー

○体験コーナー

- ・ バーチャル体験コーナー (恐竜…化石)
- ・ 図書館内で化石発掘
- ・ 石に関する (特化した) コーナー
- ・ 室内アスレチック
- ・ ゲーム (ファミコン←教養) から e スポーツまで
- ・ アトリエ (手芸ができる、ミシンが置いてあり貸出できる)
- ・ 美祢市の七不思議… (あるのかな?) 探検コーナー
- ・ 絵本のような空間、実際の絵本が体験できる (ガリバーみたいな)
- ・ 調理室 (エスニック料理)
- ・ 視覚コーナーの充実 (DVD、CD、データ)
- ・ YouTube とか映画とが見られる

○学び、楽しみ

- ・ 漫画は教養です、充実させて
- ・ なんらか子どもがわあ〜ってなる空間
- ・ 小さな映画室
- ・ プラネタリウム
- ・ 植物園

○イベント

- ・ イベントができる
- ・ ボランティアに力を借りるイベント
- ・ 講座室 (小、中規模)
- ・ 小さなイベントができるフロア (小ホール)
- ・ ちよっとした講座、やりたい講座、ミサガを編んでみよう
- ・ ボランティアの充実!
- ・ 図書館を支えるボランティア (整理など)

### ○趣味

- ・美術クラブ→美術史や作家について学んで、美術館に見に行く
- ・郷土について研究するグループ
- ・読書クラブの養成（本クラブをたくさん）

### ○人

- ・人を巻き込んで、巻き込まれる人を増やしていこう
- ・人が集まる機能を充実させて

### ○人材育成

- ・人が財産
- ・中高生ボランティアを募る→意見を取り込む
- ・高校生が子どもにも本を読む（自分の経験を話す）
- ・関わる人がスキルを得られる
- ・図書館サポーター（ボランティア）
- ・中年の方が読書指導する
- ・地域の高齢者に手伝ってもらう（何かを選元できるように）
- ・地域の歴史に詳しい人とのつながり
- ・参加者（ボランティア）の意見が反映される

### ○連携

- ・公民館図書との連携（ネットワーク）
- ・地域の公民館とのつながり
- ・公民館からも欲しい本などを発信
- ・学校とつながる
- ・学生が知りたいことに対応できる
- ・新博物館とのネットワーク（つながり）
- ・地元の本屋さんとのつながり（仕入れ）
- ・本を買うシステムはできませんか
- ・宅配本システム（田舎、高齢者対応）
- ・本の福袋の選書

### ○図書館まつり

- ・図書館まつりができたらいいな
- ・本は少数でよい。人が参集することが目的の図書館！（図書館まつりを！）

## 美祢市立図書館基本構想策定業務

### 令和2年度第3回美祢市立図書館あり方検討委員会 発表記録（株）龍環境計画

日 時	2021年2月9日（火）9:30～11:30
場 所	美祢市役所3階委員会室

#### STEP4、STEP6のグループ毎の発表内容

##### グループA

###### ●場所に関する意見

- ・駐車場の確保を考慮して、旧スーパーの跡地と消防署の跡地
- ・できたら一緒にして、どちらかを駐車場にしたらどうか
- ・美祢駅の近くもあるが、駅を使う利用者が少ない
- ・美祢市民は、車移動が多いため、駐車スペースを確保する必要がある

###### ●図書館と複合したら良い機能や空間に関する意見

- ・大人も楽しく過ごせたら良い
- ・カフェやギャラリー
- ・大きな場所は要らないがミニコンサートやミニシアター、ミニスタジオなど本を読みながら、別な楽しみがある場所があると良い
- ・本屋やコンビニ、近くに郵便局があるが施設内にATMがあると良い
- ・宅配ボックスがあると良い
- ・ゆったり過ごせる空間ということで、天井が高く、スペースが広い、ゆったりとした場所
- ・木のぬくもりがある、明るいスペース
- ・そばに芝生があり、子ども達が遊べたり、お弁当を食べたりできる空間
- ・学びについて、生涯学習の観点も含めると学びの場も必要
- ・中高生が学習するスペース、小中学校との連携において、ネットワークが繋がっていることが大前提

- ・郷土コーナー、郷土資料が入る広い書庫
- ・美祢市内のいろいろな博物館と図書館が連携し、資料を見ることができると良い

###### ●つながり・ネットワーク、運営に関する意見

- ・システムでつながり
- ・美祢、美東、秋芳の検索システムでつながり
- ・博物館とつながり
- ・学校図書館と公民館をつなぐ
- ・どこにどの本があるのかが分かるシステムにする
- ・人をつながる、みんなでつながる
- ・職員の人数に限りがあるが、人がいることで、人とのつながりができるため、ボランティアを募るのはどうか
- ・ブックトーク、読み聞かせボランティア、デジタルを教えるボランティア、本を紹介するポップをつくるポップボランティア、整理整頓や修理修繕をするボランティアなどを募れたら良い
- ・情報発信は、図書館便り、本のニュース、講座の案内など
- ・街中図書館ということで、今どんどん活字離れをしている。スマホがあるため、簡単に情報を得ることができているが、実際に本を読んで情報を得ることは違う。
- ・例えば、図書館の本が郵便局に置いてあり、待ち時間に読める
- ・美祢はとでも広いため、移動図書館があれば、子どもたちも本を借りることができる
- ・公の場所以外でも、本の受渡しができる
- ・大人も子どもも簡単に情報を得られる時代だが、本のぬくもり、文字のぬくもりが伝われば良い
- ・難しいかもしれないが、開館時間が延長されれば仕事帰りに立ち寄れる

## グループB

### ●場所に関する意見

- ・広い駐車場があると良い
- ・スーパ一の跡地が隣に広い駐車場もあり、もしかしたら建設農林部の敷地も使えるのではないかとという意見が出た
- ・場所が広ければ、建物を建てるときにいろいろなることに使える
- ・旧スーパーの場所が良いという意見もあり、そのポイントとして美祿駅に近いことが挙げられた
- ・高校生は駅をよく利用していることから、図書館が近ければ、待ち時間の利用や飲食ができる場所にもなる
- ・川から来て桜並木が見える場所で、図書館から桜や川が見える景色が必要という意見があった
- ・川が近いと、水害が心配でハザードマップで検討が必要
- ・公園について、子どもたちが親子で一緒に遊べる場所がほしい

### ●図書館と複合したら良い機能や空間に関する意見

- ・化石館や歴史民俗資料館の場所が離れているため、一緒になると良い
- ・ICTで化石館などの施設が繋がれば良い
- ・秋吉台科学博物館はICTでつなぐ
- ・観光案内ブース、パンフレットがあると良い
- ・Wi-fi、インターネット、パソコンなどICTに対応できる施設
- ・イベントや講座ができるスペース
- ・サークルなど少人数での集まりに利用できる貸しスペース、貸し出せる多目的室があると良い
- ・多目的室はフレキシブルに大きさが変えられると良い

### ●つながり・ネットワーク、運営に関する意見

- ・人、世代、場所のつながりの核となる図書館
- ・どの本がどこの図書館にあるのか分かるシステムにしてほしい
- ・県や他の図書館とのつながり
- ・ブックモービル、移動図書館が幼稚園や保育園、病院に行けば、図書館とつながるのではないかと
- ・学校図書館にも人を配置してほしい
- ・学校図書館の司書配置が必要
- ・情報や物を動かすにも人がいないと何もできないため、正規の司書職員を増やしてほしい
- ・郷土史に詳しい人材、ICTに詳しい人材などが必要ではないか
- ・専門の人材を育成することも必要ではないか
- ・図書館には情報としてのつながりも必要のため、全国の図書館とネットワークでのつながり、いろいろな図書館を持っている情報のつながりなど
- ・バーチャル図書館で、実際の図書館にいるようなことが実現できたら楽しい



## グループC

### ●場所に関する意見

- ・駐車場の確保は絶対
- ・美祢高の跡地は捨てがたい、広い駐車場は確保できるし、美東の人も、秋芳の人、美祢の人も行きやすいのではないかな
- ・市民病院近くの中央公園は広く、緑もあり、高台であるため、検討の余地があればどうか
- ・地図の中だと、丸和と隣の駐車場、消防署、建設農林部を囲むのはどうか。NTTの駐車場も市の方で調整してもらい、歩行者天国、河川公園風にするのはどうか
- ・交通の便が良い場所、バスが停まり、高齢者が行きやすい場所
- ・歩行者天国になると子どもたちにとって安全
- ・青果市場の場所が高校生の待合場所になっており、本が読めたり、暖かい場所です。待てるなど、できると良い

### ●図書館と複合したら良い機能や空間に関する意見

- ・人を巻き込む場所にした
- ・本を読む場所以外に、くつろいだり、人が集まっても何かできる場所、イベントができる場所にした
- ・講座、コンサート、発表の場、ギャラリなどができるとう良い
- ・子どもたちが経験できる講座、ミサングを編んでみよう、など
- ・いろいろなことを試せる講座が開ける場所が欲しい
- ・恐竜の化石発掘体験などの体験コーナー
- ・ふれあいアスレチック
- ・絵本のような空間で、子どもがまた行きたくなる空間になると良い
- ・ゲームや漫画が子どものおもちゃではなく、教養の一つになっているため、本屋が少くない美祢市の子ども達のために、漫画やゲームを充実させて欲しい
- ・エスニック料理などが作れる調理室
- ・手芸ができる、ミシンの貸し出しができるアトリエ
- ・視聴覚センター
- ・リモート会議ができる研修室
- ・美祢市資料の保存庫

- ・広い書庫機能と人が集まる機能が重要
- ・人が集まる機能を充実させることが重要

### ●つながり・ネットワーク、運営に関する意見

- ・とにかく人が財産のため、図書館の運営を通して人材育成ができれば良い
- ・図書館のボランティア
- ・郷土について研究するグループ、読書クラブ、美術クラブなど何かを勉強して、現地に実際に行くようなグループ活動の中心となる人材を育成するのはどうか
- ・いい図書館ができて、アクセスできる人は限られてくるため、移動図書館などのシステムがあると良い
- ・小中高の図書室とのネットワークが必要
- ・小中高の図書館委員から市民図書館委員を募り、小中高校生のリクエストを図書館に直接伝えられたら良いのではないかな
- ・学生を他市の図書館を見に行くツアーなどから、周りの図書館とのつながりができたら良い
- ・本屋がないため、地元の本屋から本を買うシステム、ネットワークができな
- ・自分の興味がある本は限られた範囲でしか探せないため、本の福袋のようなものができな
- ・ゆくゆくは図書館まつりができるように、賑わいがあり、人が集まる図書館になってほしい
- ・本読み人口が日本一になるように、いろいろな人を巻き込んでいけるシステムになれば良い

美称市立図書館基本構想 全体構成 (案)

はじめに 美称市立図書館基本構想策定の趣旨	……………01	第3章 新しい美称市立図書館の施設整備に関する考え方 1. 新しい美称市立図書館の組織体制	……………16
第1章 美称市の図書館の現状と課題 1. 美称市の図書館の現状	……………02	2. 施設規模	……………18
2. 美称市の図書館の蔵書数と受入冊数	……………04	3. 中央図書館の建設場所	……………20
3. 美称市の図書館の利用状況	……………05	4. 求められる機能	……………22
4. 美称市の図書館の課題	……………07	5. 概算事業費の検討	……………23
5. 美称市の3つの図書館の運営における課題	……………11	6. 整備スケジュール	……………23
第2章 新しい美称市立図書館が目指す姿 1. 基本理念 人を育て、次世代の未来を育む	……………12	第4章 新しい美称市立図書館の運営・管理に関する考え方 1. 図書館の運営方式	……………24
2. 新しい美称市立図書館が担う5つの役割 役割1 知識や情報に出会う 役割2 多様な学びの活動を展開する 役割3 地域を知り、その歴史と魅力を伝える 役割4 地域のくらしを支える 役割5 楽しいみんなの居場所をつくる	……………12	2. 図書館運営の基本要件	……………24
3. 新しい美称市立図書館づくりのための4つの取組 取組1 みんなでつくる、みんなで支える 取組2 ICT環境整備で、ひろく、はやく、つなぐ 取組3 まちなかの賑わいを創出するためにふさわしい場所につくる 取組4 固有の大地の構造を大切にす	……………14	3. 運営方式の比較	……………25
4. 新しい美称市立図書館の構成図	……………15	<参考資料> 1. 基本構想の策定プロセス	……………26
		2. 美称市立図書館あり方検討委員会ワークショップ 記録	……………27
		3. 車座集會	



## 新しい美祿市立図書館が目指す姿

激しく変化していく現代社会において、美祿市にくらす市民が、新しい知識や情報を知りたい！これはどうすればいいのだろうか？ と思った時に頼りにされる身近な場所であるためには、図書館はどうあるべきかを考えます。

### 1. 基本理念

「人を育て、次世代の未来を育む」

美祿市には、秋吉台、秋芳洞をはじめとする3億5千万年の悠久の時間を重ねてきた地球史レベルの自然や、その大地の上で展開されてきた豊かなくらしの歴史があります。それら他に見えない歴史や文化を活かし、新しい知識や情報を集め、地域の将来を担う子どもたちを育て、持続可能なまちを次の世代に受け継いでいくための拠点として、図書館を育てていきたいと思えます。

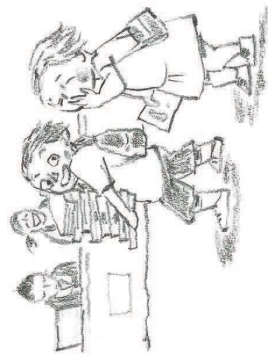


### 2. 新しい美祿市立図書館が担う5つの役割

新しい美祿市立図書館づくりの基本理念を実現するためには、図書館がどのような役割を担うべきなのか、5つの役割として整理しました。

#### 役割1 知識や情報に出会う

- ・必要な知識や情報を探することができる
- ・知識や情報を探そうとすることで、強力な支援（レファレンス）を受けられる
- ・市民の文化教養活動への支援がある
- ・学校図書館と連携している



#### 役割2 多様な学びの活動を展開する

- ・子どもからお年寄りまで楽しめる、多様な学びのプログラムが市民協働で用意されており、必要なプログラムは常に新たに用意できる
- ・市民が、講座、イベントの企画に協働して参加し、実施・運営に主体的に関わることができる
- ・地域の特性を生かした体験型の学びの活動が実践されている



#### 役割3 地域を知り、その歴史と魅力を伝える

- ・悠久の時間を重ねた大地の上に広がる地域の歴史についての情報が揃っている
- ・秋吉台・秋芳洞など、ジオパークに関する情報がどこよりも充実している
- ・地域のくらしの情報が細やかに発信されている
- ・博物館や化石館などと連携し、化石に特化したコーナーがある



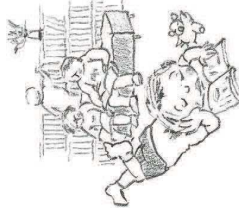
#### 役割4 地域のくらしを支える

- ・住民が抱える様々な課題を共に発見し、解決するための支援が用意されている
- ・住民の新しい活動へのチャレンジを支援する仕組が用意されている
- ・現代的課題やくらしに必要な課題のための学習、機会を提供している
- ・市民への様々な情報提供により、まちづくり活動やコミュニティ活動を支援している



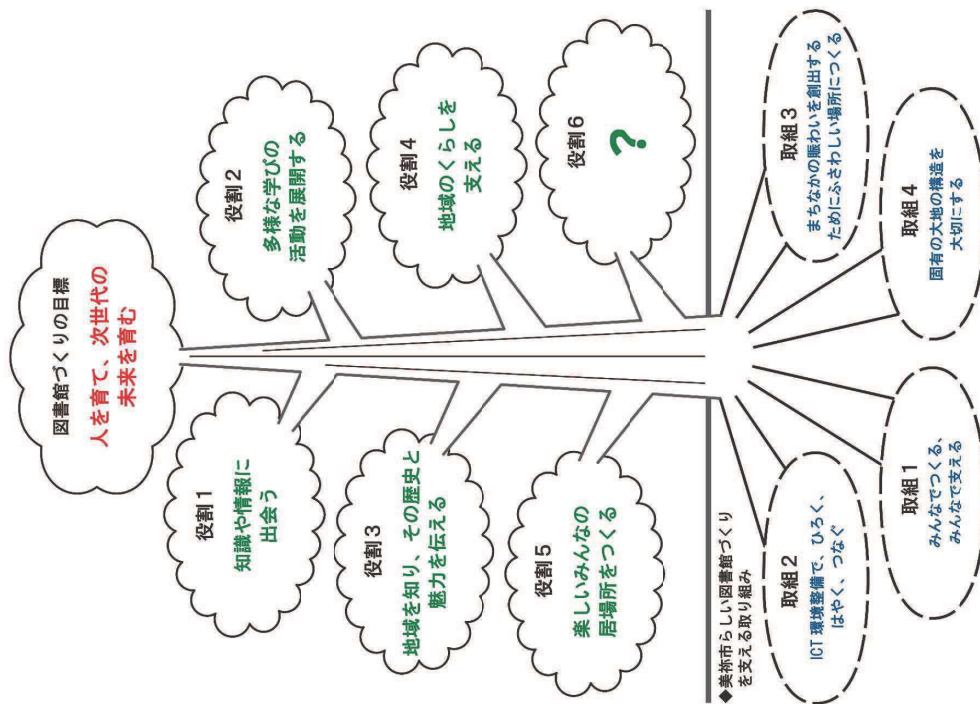
#### 役割5 楽しいみんなの居場所をつくる

- ・みんなが自然と集まってくる居心地のいい場所がある
- ・目的がなくてもふらっと立ち寄り、ただ居られる場所がある
- ・子どもたちが安心して使える「子どものシェアルーム」となる場所がある
- ・刺激的で明るく楽しい空間がある



4. 新しい美祿市立図書館の構成図

「人を育て、次世代の未来を育む図書館」

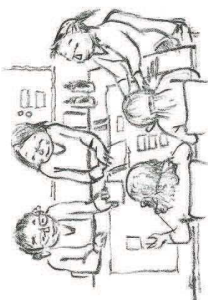


3. 新しい美祿市立図書館づくりのための4つの取組

前述した5つの役割を担う図書館をつくりあげていくために必要な取組について、4つに整理しました。この取組は、美祿市らしい図書館づくり「市民の生涯学習の進展及び文化の発展に寄与すること」を支える根幹となるものです。

**取組1 みんなで作る、みんなで支える**

- ・市民の力を合わせて、協働の図書館づくりを進める
- ・ボランティアの人材を育成し、当事者意識を持って運営に関わる市民を殖やす
- ・お年寄りから子どもまで、くらしの知恵を相互に学び合う取組を展開する
- ・多くの人が関わり、図書館だよりなどを発行し、情報発信に努める



**取組2 ICT環境整備で、ひろく、はやく、つなぐ**

- ・ICT活用により実空間と情報空間が融合した、ハイブリッド図書館として充実させる
- ・県立図書館や周辺市の図書館とのネットワークの充実を図る
- ・3つの図書館、公民館図書室、学校図書室とのネットワークによる「美祿システム」の充実を図る
- ・DX<sup>(注)</sup>や行政のデジタル化を先導する施設にする  
(注)DX：デジタルトランスフォーメーション「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる」という概念

**取組3 まちなかの賑わいを創出するためにふさわしい場所につくる**

- ・駅や、市役所、他の公共施設、河川公園などとの関係を重視し、まちなかに新しい人の流れをつくりだす場所につくる
- ・公共交通利用、自転車利用、自転車、徒歩等、市民が、いずれの交通手段でもアクセスしやすい位置につくる

**取組4 固有の大地の構造を大切にす**

- ・3億5千万年前から続く、地球史の上に展開してきたまちであることの特異性、優位性を常に意識して、全ての計画の特徴づけを考える。



## 資料-4

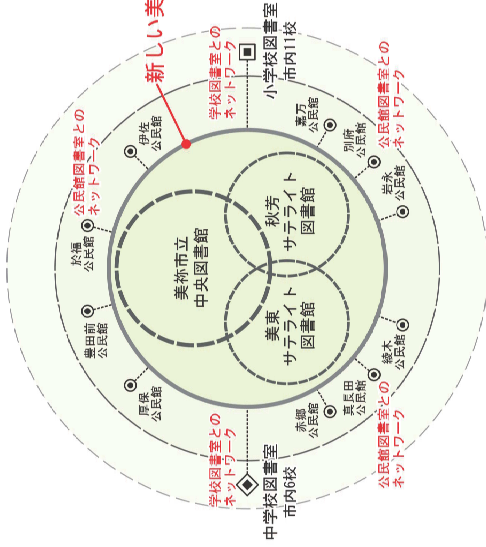
### 1. 新しい美称市立図書館の構成について

○現在、合併以前、それぞれの自治体で運営していた3つの図書館が利用されています。今後、新しい美称市立図書館において3つの図書館の構成（関係）をどうするかが重要です。

#### 1) 基本方針（案）

○これまでの議論の経緯を踏まえると、以下の考え方が目安となると思います。  
この考え方について意見をお聞かせください。

・美称図書館を中央図書館と位置づけ機能を充実を図り、美東図書館、秋芳図書館をそれぞれ美東サテライト図書館、秋芳サテライト図書館として、地域密着型のサービスを提供できるよう配慮し、全体の緊密な連携を図り一体の図書館として運用する。



新しい美称市立図書館の構成（案）

・さらに、各地区公民館の図書室、学校の図書室との連携を図り、より身近な図書サービスネットワークによる「美称システム」をつくりあげる。

## 資料-5

### 2. 2つのサテライト図書館の施設規模や運営体制について

○総合支所、公民館、図書館の複合施設となる美東総合支所、秋芳総合支所に合築される図書館は、基本設計では150㎡程度の広さが目安となっています。

それぞれの総合支所に合築される図書館の構成について、基本設計段階での考え方を1)に示しています。

また、3つの図書館の役割分担を明確にした考え方について、2)で説明します。  
これらの考え方について、意見をお聞かせください。

#### 1) 図書館規模の目安の150㎡程度に、通りの要素を収めた場合（基本設計時点）

- 基本設計時点では、美東、秋芳それぞれの総合支所庁舎等施設に併設される図書館の規模は、約150㎡が目安となりました。
- この時点では、3館の位置付けについて十分な議論の機会がなく、施設構成のあり方については踏み込めない状況でした。
- 基本設計時点で想定した図書館の構成については、**（資料6-1、資料6-2、資料6-3）**を参照してください。

#### 2) 150㎡程度に収め、それぞれの役割分担を明確にし、特徴をもたせた場合

- 前提条件
  - 中央図書館と2つのサテライト図書館の構成として、ICT環境を充実させ、一体的な図書館として円滑な運営を実現する。
- 基本方針
  - 開架書架は、一般書については原則として新刊本程度にとどめ、蔵書冊数を絞り、検索システムを充実させ、中央図書館からの取り寄せを基本とする。
  - 開架書架に置く図書は、美東、秋芳それぞれ地域の特性に合った特徴をもたせて選書し、明確に役割を分担する。**（資料6-2、資料6-3）**  
(例えは)

美東：子ども、子育てに関連する図書と、農業、環境などに関する資料を充実させる。

秋芳：秋吉台・秋芳洞、Mine秋吉台ジオパーク関連の資料を充実させ、子ども、

子育て、教育などに関連する図書を充実させる。

・少人数で集まって、調べものなどができるグループ学習室を設け、市民の多様な学びの場を用意する。

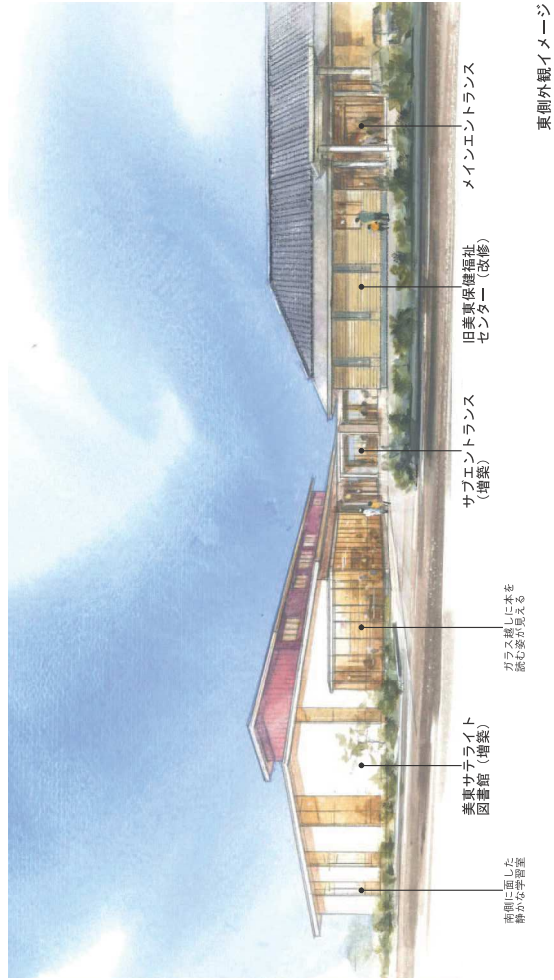
・新聞・雑誌などのブラウジングコーナーを充実させ、地域住民が気軽に集まれる快適な居場所をつくる。

・観光客など外部からの利用者に居場所を提供し、地域情報を発信するビジュアルセンターとしての役割を担う。

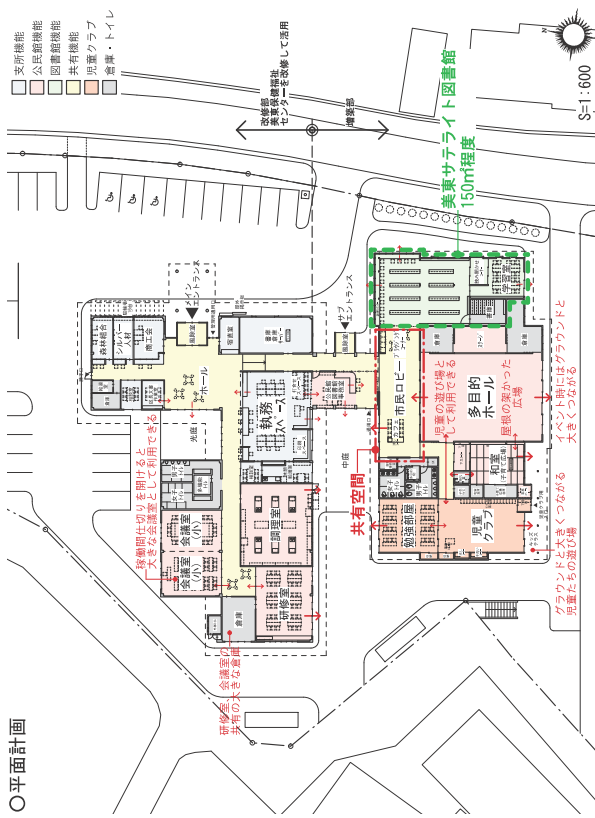
# 新美東総合支所・新秋芳総合支所（基本設計時）

資料 6-1

## ○新美東総合支所



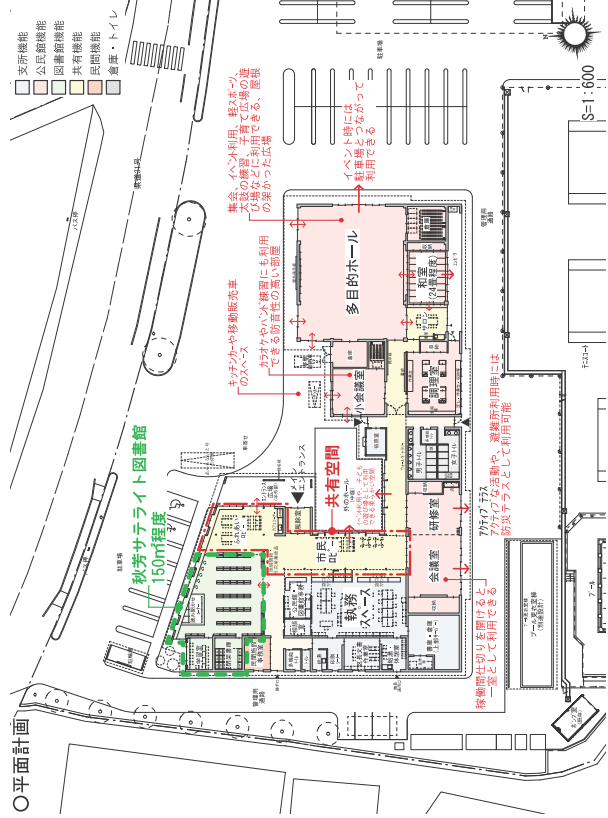
## ○平面計画



## ○新秋芳総合支所



## ○平面計画



# 美東サテライト図書館

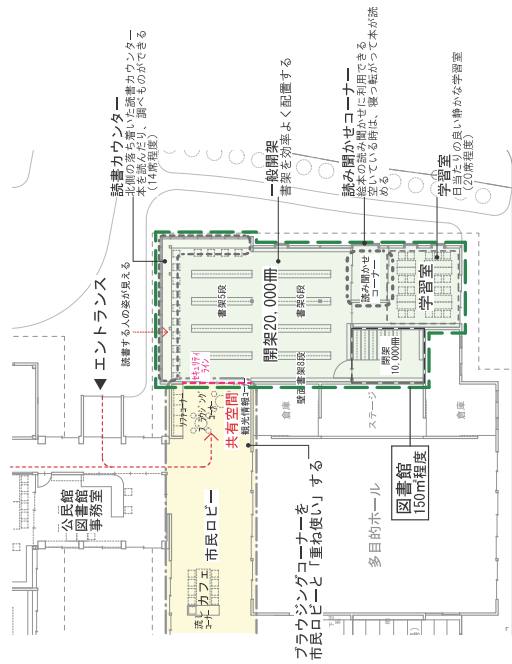
# 資料 6-2

## 1) 図書館規模の目安の150m程度に、一通りの要素を取めた場合 (基本設計時)

### ○図書館の構成の考え方

- 一般開架20,000冊、閉架10,000冊の計30,000冊の蔵書数を確保しています。
- 開架スペースの周辺に、読書カウンター、読み聞かせコーナーを設け、日当たりの良い南側の静かな位置に学習室を設けています。
- 閲覧席、プラウジングコーナーや、地域情報コーナーが不足しているため、共有のふれあいロビーを「重ね使い」することで、効率的な良い空間利用を図っています。

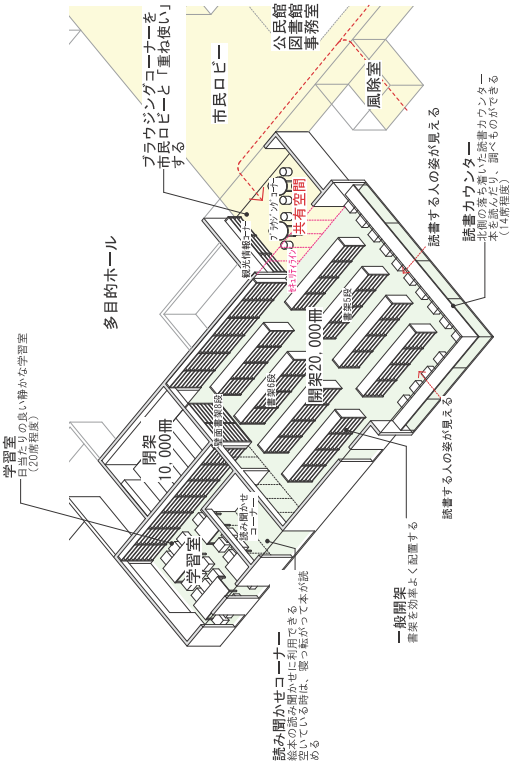
### ○図書館の空間構成図



### ○図書館の構成要素

- 図書館面積150m程度
- 開架スペース：約20,000冊
- 閉架書庫：約10,000冊
- 蔵書数合計：約30,000冊
- 読み聞かせコーナー (6帖程度)
- 読書カウンター：14席
- 学習室：20席

### ○図書館の空間イメージ

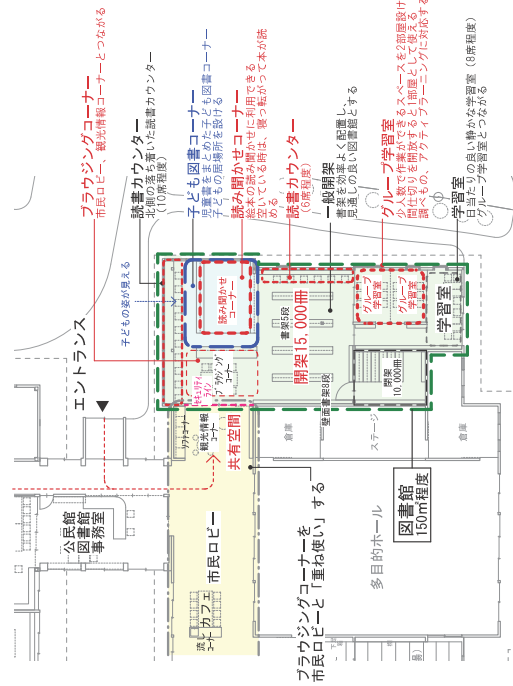


## 2) 150m程度に収め、それぞれの役割分担を明確にし、特徴をもたせた場合

### ○図書館の構成の考え方

- 一般開架を15,000冊とし、閉架スペースにゆとりを生みだしています。
- 市民ロビー、観光情報コーナーと連携する雑誌や新聞を落ち着いて読める、プラウジングコーナーを設けます。
- 児童書をまとめ、読み聞かせコーナーと一体化になった、子ども図書コーナーを設けます。
- 少人数で調べものができるグループ学習室を2部屋設けます。間仕切りを開放することで1部屋とすることや、学習室とつなげることができます。アクティブラーニングの場として活用できます。

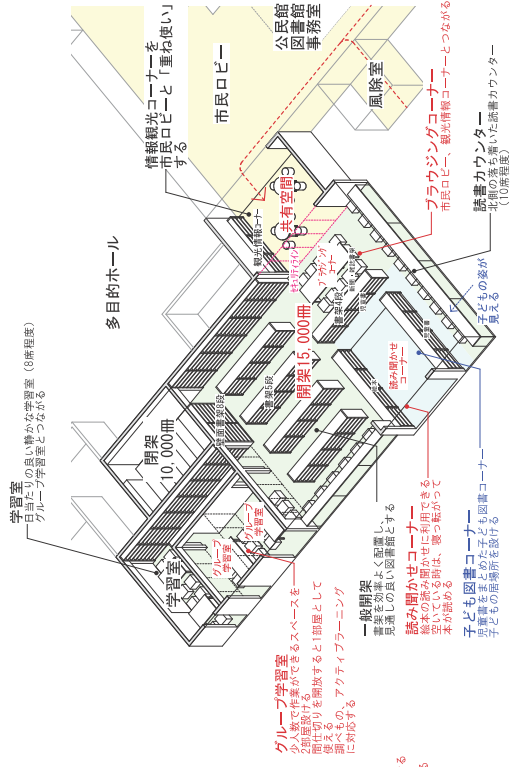
### ○図書館の空間構成図



### ○図書館の構成要素

- 図書館面積150m程度
- 開架スペース：約15,000冊
- 閉架書庫：約10,000冊
- 蔵書数合計：約25,000冊
- 子ども図書コーナー
- 読み聞かせコーナー (8帖程度)
- 読書カウンター：16席
- グループ学習室：12席 (6席 x 2)
- 学習室：8席

### ○図書館の空間イメージ



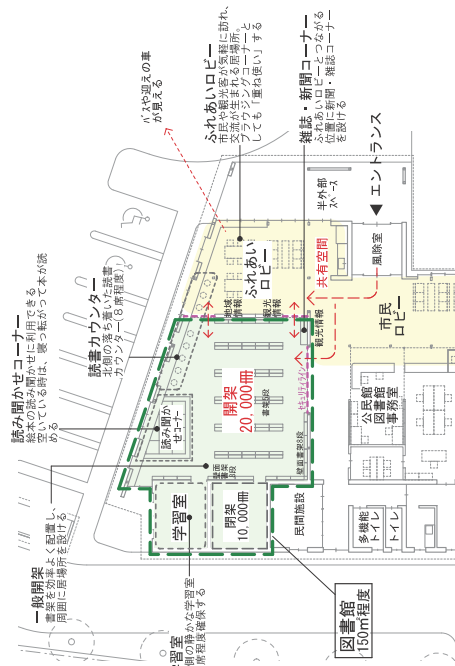
# 秋芳サテライト図書館

## 1) 図書館規模の目安の150m程度に、一通りの要素を取めた場合（基本設計時）

### ○図書館の構成の考え方

- 一般開架20,000冊、閉架10,000冊の計30,000冊の蔵書数を確保しています。
- 開架スペースの周辺に、読書カウンター、読み聞かせコーナーを設け、北向きの静かな位置に学習室を設けています。
- 閲覧席、プラウジングコーナーや、地域情報コーナーが不足しているため、共有のふれあいロビーを「重ね使い」することで、効率の良い空間利用を図っています。

### ○図書館の空間構成図



### ○図書館の構成要素

- 図書館面積150m程度
- 開架スペース：約20,000冊
- 閉架スペース：約10,000冊
- 蔵書数合計：約30,000冊
- 読み聞かせコーナー（6帖程度）
- 読書カウンター：5席
- 学習室：12席

## 2) 150m程度に収め、それぞれの役割分担を明確にし、特徴をもたせた場合

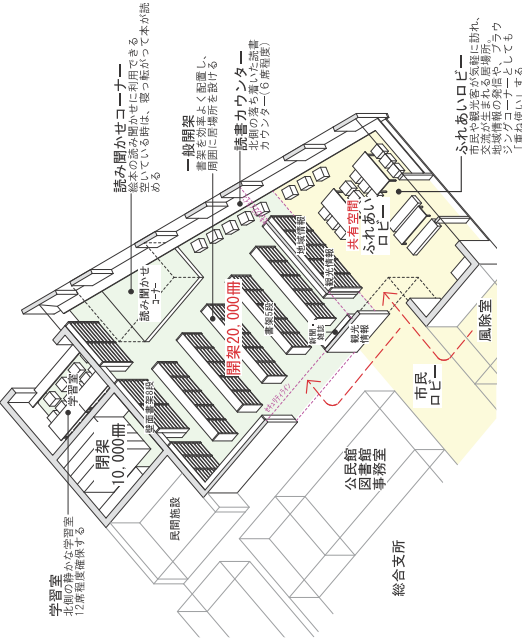
### ○図書館の構成の考え方

- 一般開架を15,000冊とし、閉架スペースにゆとりを生みだしています。
- 開架スペースの一部に、ジオパークに関する資料や、地域産物の、特産産品コーナーを設け、地域に関するより深い情報を提供します。
- 閲覧席、プラウジングコーナーや、地域情報コーナーが不足しているため、共有のふれあいロビーを「重ね使い」することで、効率の良い空間利用を図っています。
- 少数人数での調べ物ができる、グループ学習スペースを設けています。アクティブラーニングの場として活用できます。

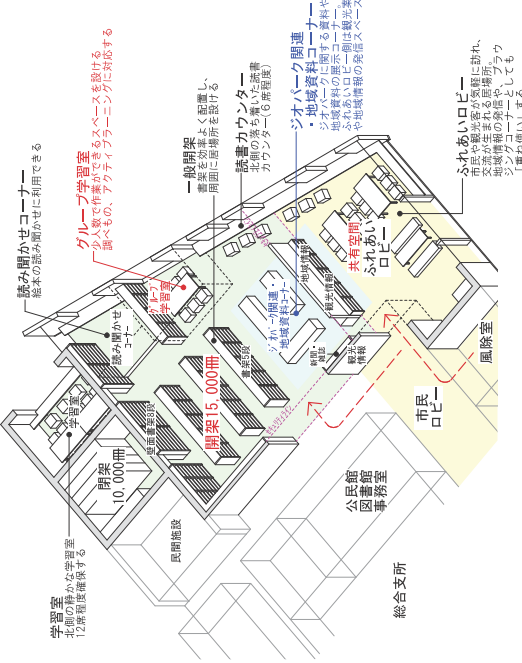
### ○図書館の構成要素

- 図書館面積150m程度
- 開架スペース：約15,000冊
- 閉架スペース：約10,000冊
- 蔵書数合計：約25,000冊
- ジオパーク関連コーナー
- 読み聞かせコーナー（6帖程度）
- 読書カウンター：5席
- グループ学習×7：6席
- 学習室：12席

### ○図書館の空間イメージ



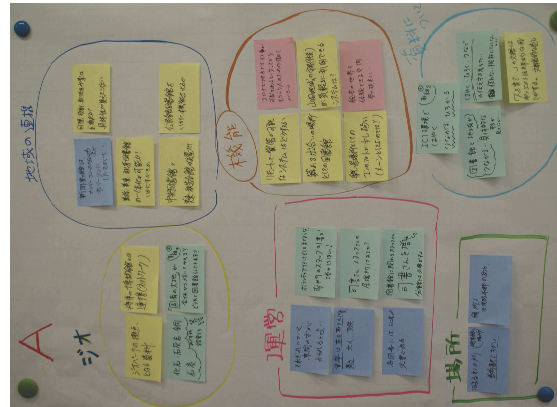
### ○図書館の空間イメージ





美禰市立図書館基本構想策定業務	
令和3年度第4回美禰市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日時	2021年8月6日(木) 14:00~15:30
場所	市民会館 大会議室
グループA	委員：利重佳子(真長田保育園園長) 柴崎良子(大嶺中学校地域コーディネータ) 豊田康恵(利用者秋芳地区代表) 中原和昭(社会教育委員)
参加者(敬称略)	

STEP2: これまでのあり方検討委員会で出された意見を基に作成した基本構想の全体構成(案)と、途中経過についての意見



ジオ

- ・ジオパークの拠点となる資料
- ・将来の博物館との連携(ネットワーク)
- ・化石、石灰、銅、石炭、めざす形、化石だけじゃない(役割3)
- ・「固有の大地」が全体から浮いてみえる? どうやって図書館らしさを出す?  
(取組4)

運営

- ・それぞれについて、専門の方がおられるとよい
- ・書架は本を取りやすく、高さ、大人、子ども
- ・各図書には司書が必要である
- ・ボランティアだけではまともでない、専門のスタッフ司書を増やしてほしい!
- ・司書さん、スタッフの居場所はあるか?
- ・図書館に関わるスタッフさん、司書さんを増やして、分館にも必要ですよ

場所

- ・旧まるわの所、美祿駅に近い
- ・旧消防本部のあと

地域の連携

- ・新図書館はナンパワーンでなくともよく、オンラインにした方が良い
- ・目標、役割、取組案は立派だが、具体性が見えてこない
- ・美祿、美東、秋芳図書館の一体化が可能か? いかにかにすべきか
- ・中央図書館と美東・秋芳分館の位置づけ
- ・公民館図書館をいかに機能させるか

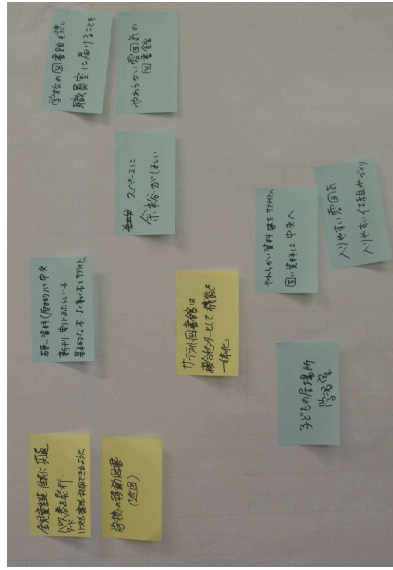
機能

- ・リモートで貸し借りが可能なシステムはどうするか
- ・夢ある出会いの場所としての図書館
- ・楽しい居場所としてのコンセプトが少し弱い(メインとしてよいのでは?)
- ・コロナで地方でも仕事が可能であることから、そういう人のための働くスペース
- ・山間地域の市民(住民)が気軽に利用できるシステムは?
- ・絵本の世界を体験できる空間、夢を現実に...

資料について

- ・ICT環境で、はやく、つながる、ひろがる(取組2)
- ・図書館と地域がつながる、具体的な形が見えにくい
- ・はやく、ひろく、つなぐ、の伝え方を考えたい、使わない機能にならないように
- ・「人を育て…」の文章はやや上から目線的な感じがする 文部的な感じ

STEP5：新しい美称市立図書館の構成や運営体制の基本的な考え方についての意見

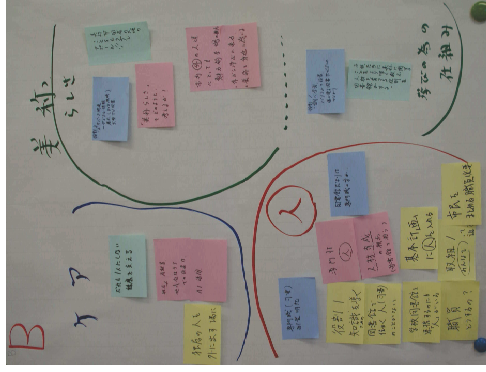


- ・全児童生徒、住民に共通パスワードを発行  
いつでも誰でも利用できるように
- ・学校への移動図書
- ・硬い資料（歴史的）は中央  
新刊、割と新しい本、基本的な本、よく動く本をサテライト
- ・やわらかい資料をサテライトへ、固い資料は中央へ
- ・サテライト図書館は複合センターとして機能を一体化
- ・子どもの居場所 学習室
- ・スペースに余裕がほしい
- ・入りやすい雰囲気、入りやすい仕組みづくり
- ・学校の図書館も必要だし、職員室に届けることも
- ・やわらかい雰囲気の図書館

美称市立図書館基本構想策定業務

令和3年度第4回美称市立図書館あり方検討委員会 作業記録（株）龍環境計画	
日時	2021年8月6日（木）14：00～15：30
場所	市民会館 大会議室
グループ	委員：能美三枝子（秋芳中学校教頭） 田村恵美子（県立山口図書館） 野原妙子（利用者美称地区代表） 牛島朗（山口大学大学院創成科学研究科感性デザイン分野）
B 参加者 （敬称略）	

STEP2：これまでのあり方検討委員会で出された意見を基に作成した基本構想の全体構成（案）と、途中経過についての意見



ケア

- ・だれも1人にしない健康を支える
- ・独居の人を外に出す場
- ・独居、高齢者、地域包括ケアでの位置づけ
- ・AI活用

### 美称らしさ

- ・役割3 ジオパーク関連、デジタル情報、展示 (DVD 視聴)、大型TV 設置
- ・「美称らしさ」をどのように考えるか?
- ・美称市固有の大地のことをもう少しアピール
- ・市内、外の人たちにとても魅力的な場の視点
- ・外から学びに来る
- ・美称を身近に感じる

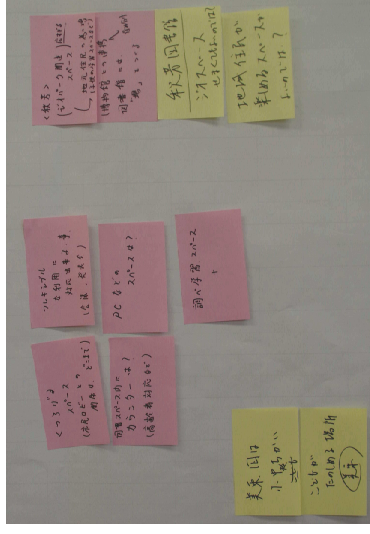
### 人

- ・専門職 (司書) 配置明記
- ・役割1 知識を導くための図書館で働く人 (司書) のことがない
- ・学校図書館と連携するにも「人」がいる
- ・職員どうするの?
- ・専門性 人
- ・人材育成の視点 (図書館を担う)
- ・基本計画に「人」を入れる
- ・取組1 みんなでって誰?
- ・市民をまとめる職員必要
- ・図書館だよりは専門職の方が

### 学びのための仕組み

- ・役割1 調べ学習、パソコンの設置、県の電子図書サービスとのつながり
- ・子どもたちに美称に関することを深く教え、人材を育てる役割を図書館がする

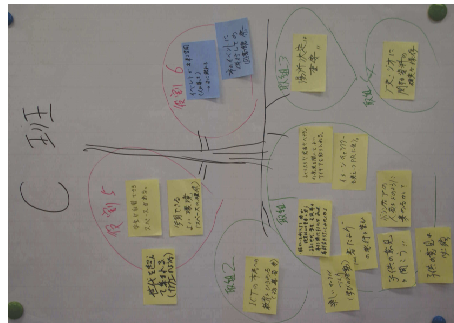
### STEP5: 新しい美称市立図書館の構成や運営体制の基本的な考え方についての意見



- ・くつろげるスペース (市民ロビーとの関係はどこまで)
- ・図書スペース内にカウンターは? (高齢者対応など)
- ・フレキシブルな利用に対応できること (会議、発表会)
- ・PCなどのスペースは?
- ・調べもの学習スペース
- ・美東図書館は小中ちかいかい
- ・子どもが楽しめる場所→美東
- ・「秋芳」ジオパーク関連スペース、広すぎる  
→地元住民のための場 (子どもの学習スペース)  
・博物館との連携、住み分け  
図書館には「場」をつくる
- ・秋芳図書館、ジオスペースせまくてよいのでは?
- ・地元住民が楽しめるスペースが良いのでは?

美祢市立図書館基本構想策定業務	
令和3年度第4回美祢市立図書館あり方検討委員会 作業記録 (株)龍環境計画	
日 時	2021年8月6日(木) 14:00~15:30
場 所	市民会館 大会議室
グループ	C 委員：作本照子 (認定こども園代表伊佐中央幼稚園園長)
参加者	金石芳朗 (県立美祢青嶺高等学校校長)
(敬称略)	山根文江 (読み聞かせの会代表)

STEP2：これまでのあり方検討委員会で出された意見を基に作成した基本構想の  
全体構成(案)と、途中経過についての意見



#### 役割5

- ・ 学習ができるスペースがある
- ・ 世代を超えて集まれる (カフェのような…)
- ・ 学習できるよい環境 (スペースの確保)

#### 役割6

- ・ イベントが出来る空間 (人が集まって) → 本に触れる
- ・ 本のイベントに併行しての図書館祭

#### 取組 1

- ・ 賑わいを創出する場が現実的には重要と思う
- ・ 子育て世代、学生、生徒等の集まる場にすれば、私たち高齢者も行ってみたいくなる
- ・ 楽しいサークルづくり (学びの活動)
- ・ 図書だよりの発行を望む
- ・ 子どもの意見を聞こう！！
- ・ 子どもの意見は必須
- ・ 子どもたちや若者やベテランの意見を聞いてよいアイデアを取り入れる
- ・ イメージキャラクターを考え、PR に使う

#### 取組 2

- ・ ICT の市民への教育を広める

#### 取組 3

- ・ 場所決定は重要！！

#### 取組 4

- ・ 歴史、ジオに関する資料の確実な保存